



愛媛県内 地域循環型食品ロス削減 ネットワーク活動

2022年1月28日

特定非営利活動法人eワーク愛媛
(えひめフードバンク愛顔)
難波江 任(なばえ つとむ)



団体概要



- ☆創業・設立 **創業 2003年12月、法人登記 2005年11月**
- ☆活動内容
- 困難を抱える若者の就労支援事業、自立支援**
相談支援、アウトリーチ、宿泊型自立支援、キャリアカウンセリング、職業訓練、他
 - フードバンク事業**
えひめフードバンク愛顔(食品ロス削減、環境改善、格差縮小支援、食育活動等)
 - 地域再生事業**
買い物弱者支援、地域おこし人材育成(各種講座企画・開催等)他
 - こども食堂事業(新居浜市・宇和島市)**
 - 生活困窮者就労準備支援事業(愛媛県委託事業)**
 - 地域情報発信事業**
Podcast番組配信「エヒメシ食遺産」「愛ある愛媛の愛顔ラジオ」
- ☆職員数等 **職員11名(非常勤含む)、ボランティア15名、会員数31(個人・団体)**
- ☆拠点 **本部拠点(新居浜市)、東予事務所(西条市)、北宇和事務所(鬼北町)
フードバンク中予事務局(松山市)、南予事務局(宇和島市)**



生活困窮者就労準備支援事業(愛媛県委託)

困難を抱える若者の
就労支援・自立支援
「若者しごと塾」

こども食堂事業
(新居浜市・宇和島市)



NPO法人
e7-7 愛媛

情報発信事業
「Podcast
による地域情報発信」

雇用の受皿創出
「地域再生・地域共生
事業」

フードバンク事業
「えひめフードバンク愛顔」
(フードバンク、コミュニティパントリー、
フードドライブ等)



沿革

- 2003年12月 任意団体として、ひきこもり・ニートなど困難を抱える若年の自立支援開始
- 2005年11月 法人登記
- 2007年 6月 「若者自立塾」(厚生労働省/合宿型若者自立支援プログラム)連携実施
- 2009年10月 「平成21年度 若者自立支援事業」受託(新居浜市)
- 2011年 4月 「平成23年度 若者自立支援事業、中高年自立支援事業」受託(新居浜市)
- 2012年 4月 「平成24年度 就労困難者支援事業」受託(新居浜市)
- 11月 フードバンク事業開始(現・えひめフードバンク愛媛)
- 2014年 8月 「平成26年度 就職・自立促進講習」(愛媛労働局委託)
- 2016年 4月 生活困窮者就労準備支援事業受託(愛媛県)、北宇和事務所(鬼北町)開設
- 2018年 2月 平成30年度・第52回 南海放送賞受賞
- 2019年 8月 えひめフードバンク愛媛 南予事務局開設・こども食堂ここね(宇和島市)開始
全国食品ロス削減研究会 発足(代表 原田佳子・美作大学特任教授)
- 2020年 2月 食品ロス削減シンポジウムinこいこいはま開催
- 8月 こども食堂来んかい屋(新居浜市)開始
- 12月 えひめフードバンク愛媛 中予事務局(松山市)開設
- 2021年 1月 コミュニティパントリー事業開始(新居浜市、西条市)
- 4月 東予事務所(西条市)開設

eワーク愛媛は
困難を抱える若者の自立支援
に取り組んできた

困難を抱える若者
(44% / 当団体被支援者状況調査結果)の
バックグラウンドには格差の問題があった

フードバンク事業による

- ① 困難を抱える若者への食料による側面支援
- ② 困難を抱える若者の社会的事業体験の場創り

フードバンク活動開始の経緯

- 2007~08年** 「**ガイアの夜明け**」(2007年3月27日/テレビ東京)
「**素敵な宇宙船地球号**」(2008年1月13日/テレビ朝日)
で**セカンドハーベスト・ジャパン**(以下、2HJ/東京都台東区)の活動が報道。
両番組をたまたま視聴した代表が、フードバンク事業に興味を持った。
(困難を抱える若者の支援に活用できる)
- 2011年 3月** 東日本大震災の2日後から、2HJが被災地への食料支援を開始した報道を見た代表が、愛媛でもフードバンクを開始すべきと考え、立上げ準備開始。
- 6月** 代表が、2HJを見学。
中国四国農政局の事業で、岡山・香川でフードバンク事業を立ち上げようと調査中の廃棄物工学研究所の職員とたまたま同席し、2HJ本部を見学。
その後、代表がフードバンク活動推進事業検討会(中国四国農政局事業)の委員としてフードバンク香川および、フードバンク岡山の設立にかかわる。
- 2012年11月** 新居浜市内で8月に開始した**直売所**および、その倉庫を活用しフードバンク事業を開始。
直売所会員の生産者、パン製造業からの食料寄付を受けて**市内の児童養護施設、近隣の自立援助ホーム**への食料提供を開始。

えひめフードバンク愛顔の運営理念

- ☆「もったいない食料」を「思いやり食料」に変えよう
- ☆単なる施しにならない食料支援をしよう
- ☆地域循環型食品ロス削減を進めよう
- ☆バランスよくフードバンク機能(食品ロス削減、地域再生・地域共生、格差の縮小等)を活用しよう

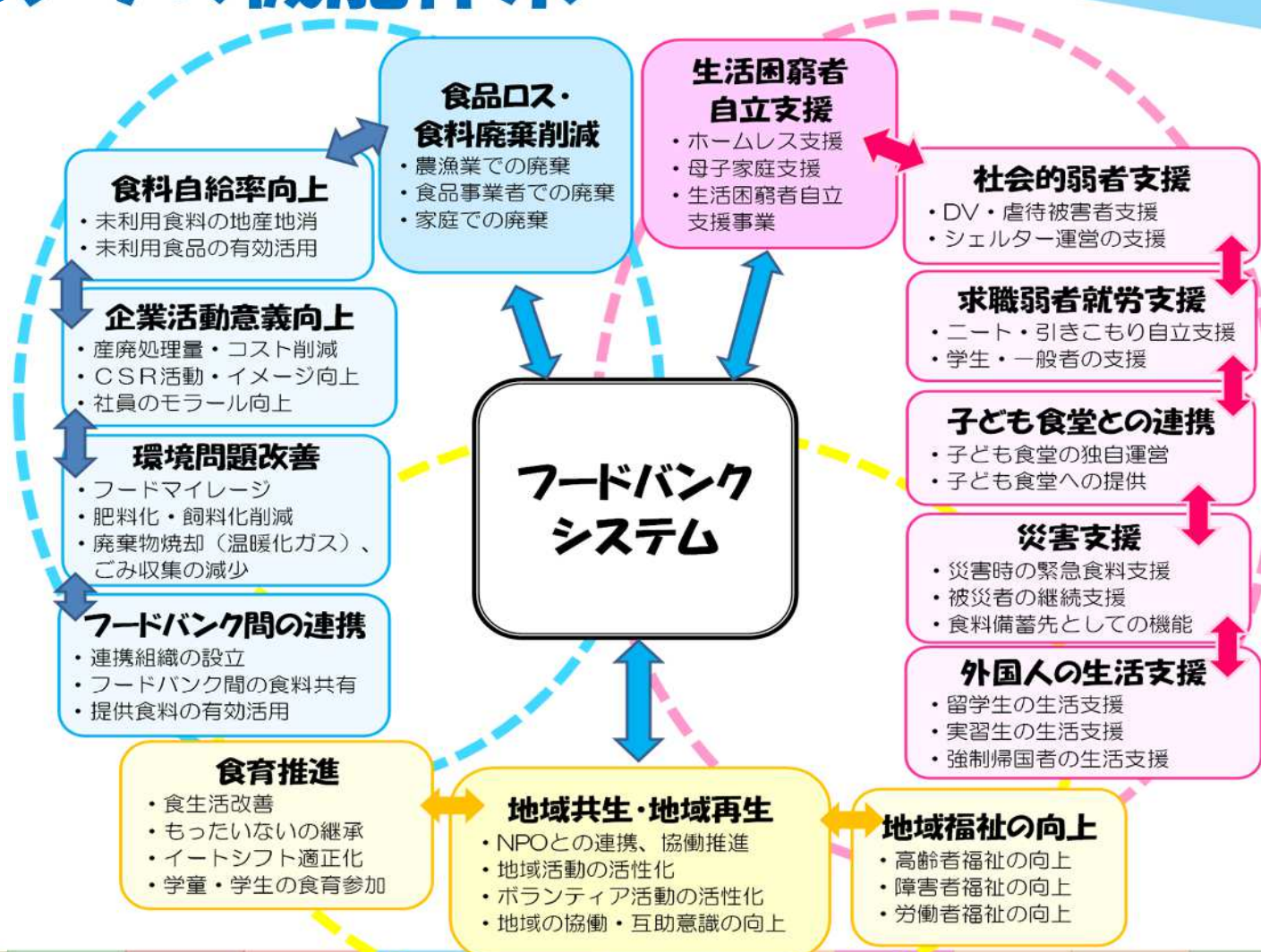
おもいやい食料

フードバンクで活用するのは、食べることができるのに、捨てられそうになっている食べ物。捨ててしまうと「食品ロス」=「もったいない食料」になりますが、それを食べることに使うと、食べ物を必要としている方や団体の助けとなる「おもいやい食料」となります。

「おもいやい食料」という言葉は、私たちeワーク愛媛のフードバンク「えひめフードバンク愛顔(えがお)」が使っている言葉です。

「もったいない食料」を活用して「ありがとう」につなげる「おもいやい」のこもった食料にしようという願いが込められています。

フードバンクの機能体系



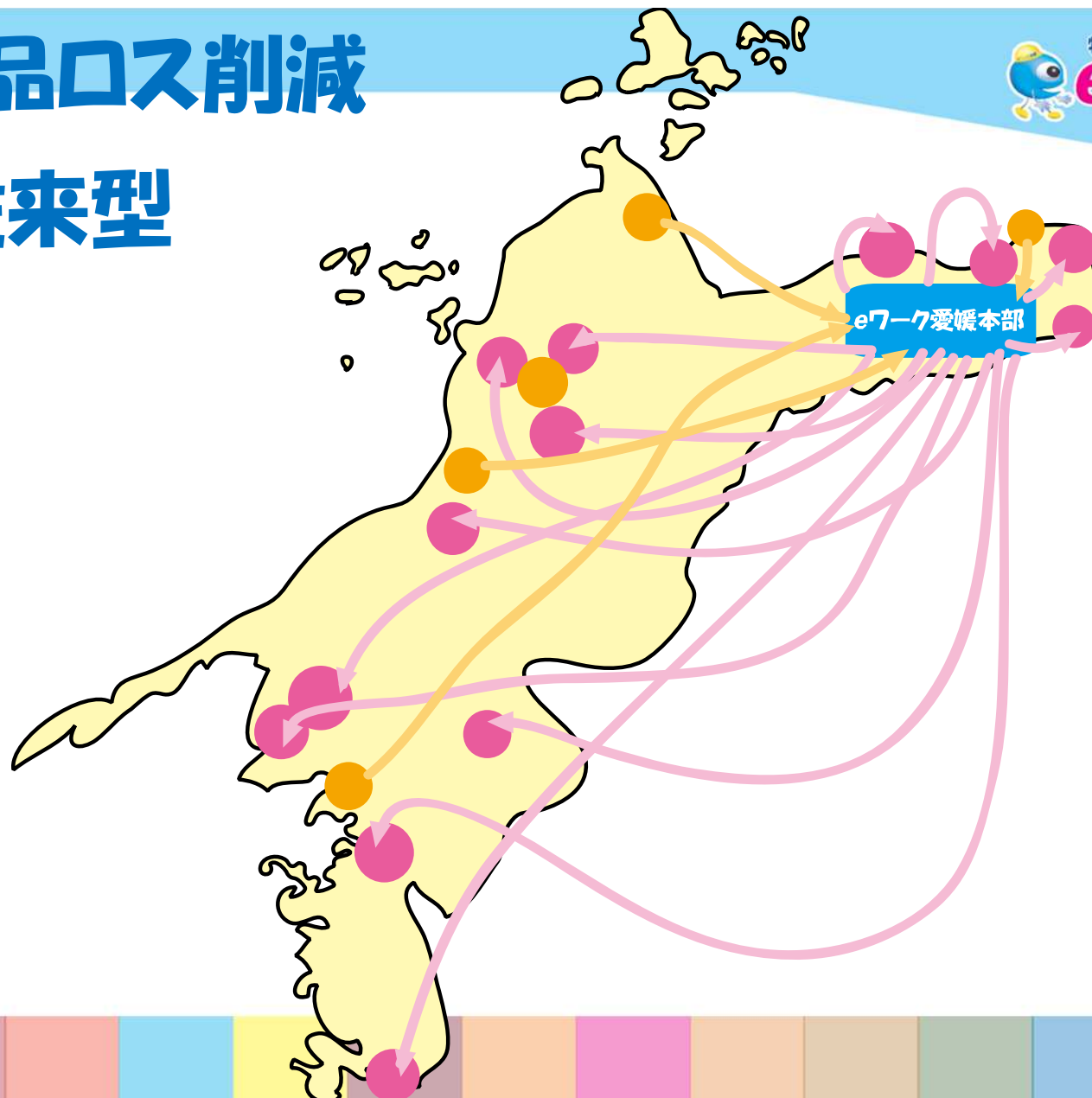
えひめフードバンク愛顔 の活動内容



地域循環型食品ロス削減

従来型

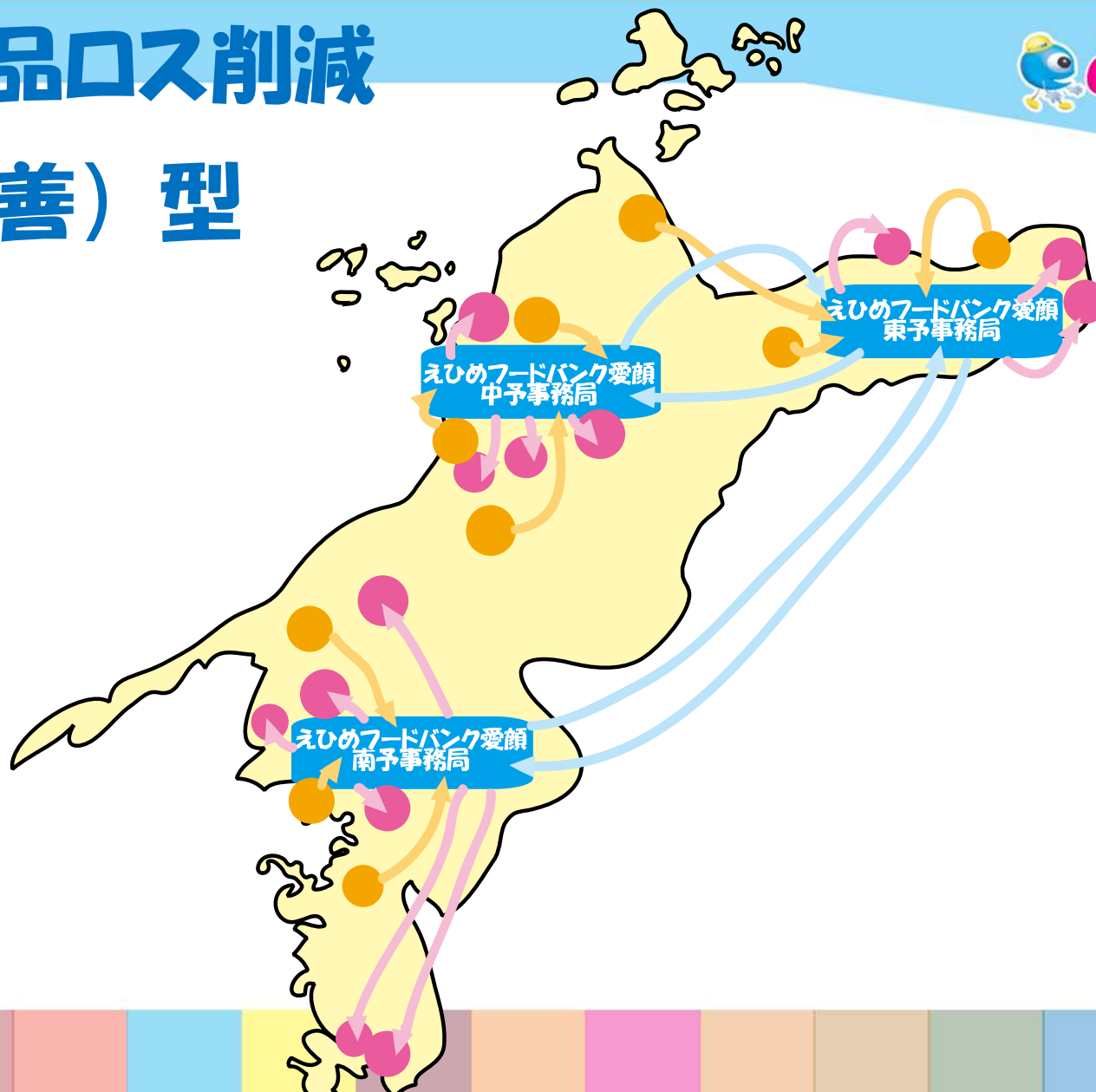
- : 寄贈元企業
- : 提供先団体
- : フードバンク拠点
- : 食料提供
- : 食料移動 (横持)
- : 食料寄贈



地域循環型食品ロス削減

現状（改善）型

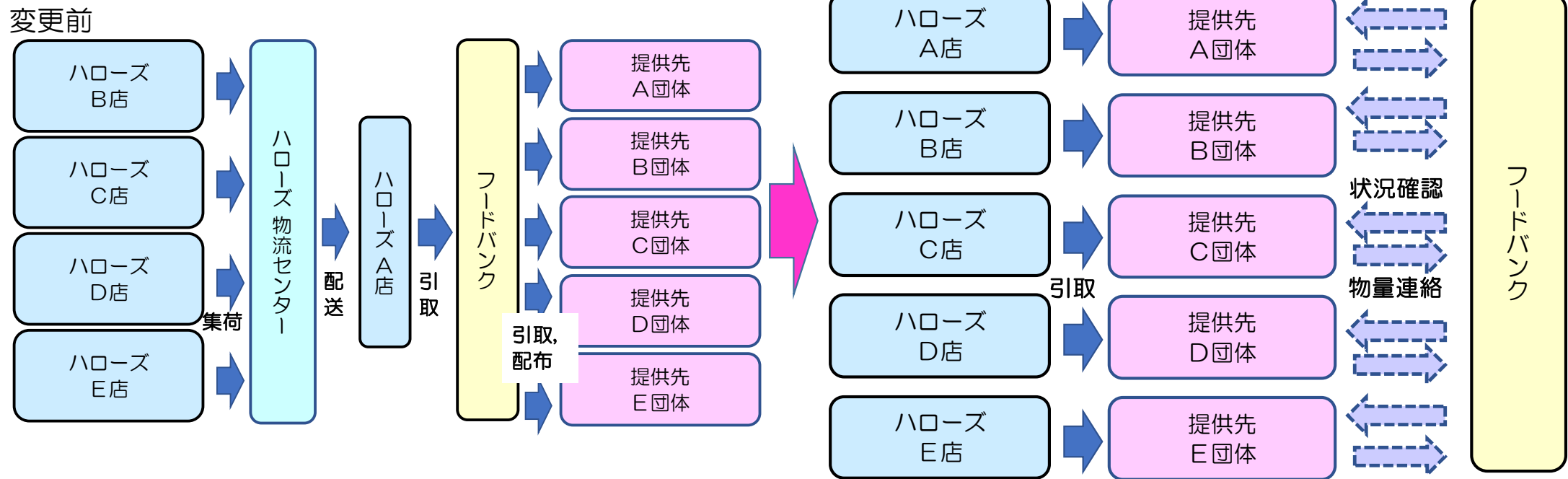
- : 寄贈元企業
- : 提供先団体
- : フードバンク拠点
- : 食料提供
- : 食料移動（横持）
- : 食料寄贈



地域循環型食品ロス削減ネットワーク



ハローズとフードバンクの物流イメージ



筆者作成

「地域活性研究」Vol.9「フードバンク事業の機能と他事業の連携効果について」掲載

フードドライブ連携による地域循環型食品ロス削減効果



No.	常設型フードドライブ実施地域	受取ネットワーク団体(団体数)	箇所数(自拠点除く)	往復距離(km/回)	連携活動によるフードバンク団体の経費削減効果									CO ₂ 削減量・環境負荷削減値		経済的効果計	
					往復距離計(km/回) ^①	作業時間(時間/回) ^②	燃料費 ^① (円/回) ^③	労務費 ^② (円/回) ^④	計(円/回) ^{③+④=⑤}	頻度(回/月) ^⑥	金額計(円/月) ^{⑤×⑥=⑦}	燃料削減量(ガソリン換算、ℓ/年)	(円/年) ^{⑦×12ヶ月=⑧}	(kg/年) ^③	(円/年) ^④ ⑨	(円/年) ⑧+⑨	
1	四国中央市	子ども食堂、子育て支援団体	2	2	60.0	120.0	3.0	1,067	3,000	4,067	4	16,267	320	195,200	835.2	6,682	201,882
2	新居浜市	子ども食堂	5	5	20.0	100.0	1.0	889	1,000	1,889	4	7,556	267	90,667	696.0	5,568	96,235
3	西条市	子ども食堂	2	1	30.0	30.0	2.0	267	2,000	2,267	4	9,067	80	108,800	208.8	1,670	110,470
4	今治市	子ども食堂支援	1	4	60.0	240.0	4.0	2,133	4,000	6,133	4	24,533	640	294,400	1,670.4	13,363	307,763
5	松山市①	子ども食堂	3	1	140.0	140.0	3.0	1,244	3,000	4,244	8	33,956	747	407,467	1,948.8	15,590	423,057
6	松山市②	子ども食堂	2	6	140.0	840.0	3.0	7,467	3,000	10,467	4	41,867	2,240	502,400	5,846.4	46,771	549,171
7	松前町	子ども食堂	3	1	150.0	150.0	4.0	1,333	4,000	5,333	8	42,667	800	512,000	2,088.0	16,704	528,704
8	内子町	子ども食堂	1	1	180.0	180.0	4.0	1,600	4,000	5,600	4	22,400	480	268,800	1,252.8	10,022	278,822
9	大洲市	社会福祉協議会	1	1	200.0	200.0	5.0	1,778	5,000	6,778	4	27,111	533	325,333	1,392.0	11,136	336,469
10	八幡浜市	社会福祉協議会、子ども食堂	2	2	240.0	480.0	5.0	4,267	5,000	9,267	4	37,067	1,280	444,800	3,340.8	26,726	471,526
11	西予市	福祉団体	1	1	240.0	240.0	5.0	2,133	5,000	7,133	4	28,533	640	342,400	1,670.4	13,363	355,763
12	鬼北町	福祉団体	1	1	280.0	280.0	5.0	2,489	5,000	7,489	4	29,956	747	359,467	1,948.8	15,590	375,057
13	宇和島市	子ども食堂	2	1	260.0	260.0	5.0	2,311	5,000	7,311	4	29,244	693	350,933	1,809.6	14,477	365,410
14	愛南町	社会福祉協議会	1	1	340.0	340.0	6.0	3,022	6,000	9,022	4	36,089	907	433,067	2,366.4	18,931	451,998
合計			27	28	—	—	—	—	—	—	—	386,311	10,373	4,635,733	27,074.4	216,595	4,852,329

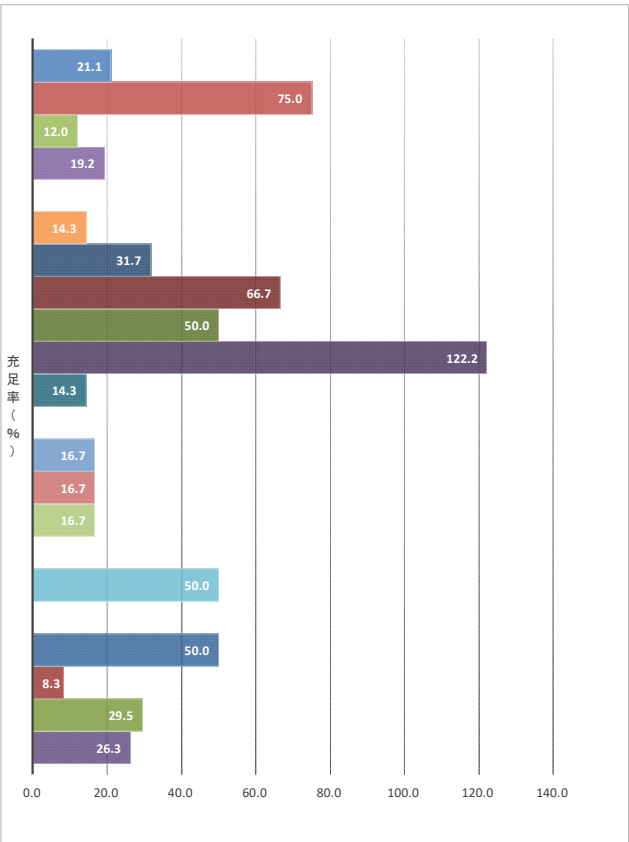
愛媛県内 こども食堂活動数

2021.11.30 確認時点
83ヶ所

こども食堂ネットワークとの連携



No.	市町名	小学校数 (校)	こども食堂数 (軒)	充足率 (%)
1	四国中央市	19	4	21.1
2	新居浜市	16	12	75.0
3	西条市	25	3	12.0
4	今治市	26	5	19.2
5	上島町	5	0	0.0
6	東温市	7	1	14.3
7	松山市	60	19	31.7
8	松前町	3	2	66.7
9	砥部町	4	2	50.0
10	伊予市	9	11	122.2
11	内子町	7	1	14.3
12	久万高原町	9	0	0.0
13	大洲市	12	2	16.7
14	西予市	12	2	16.7
15	八幡浜市	12	2	16.7
16	伊方町	5	0	0.0
17	宇和島市	30	15	50.0
18	鬼北町	6	0	0.0
19	松野町	2	1	50.0
20	愛南町	12	1	8.3
県内合計		281	83	29.5
全国		19,340	5,086	26.3



筆者作成

1)文部科学省「令和2年学校基本調査」2021.12.2閲覧
2)むすびえHP (<https://musubie.org/news/2898/>) 2021.12.2閲覧

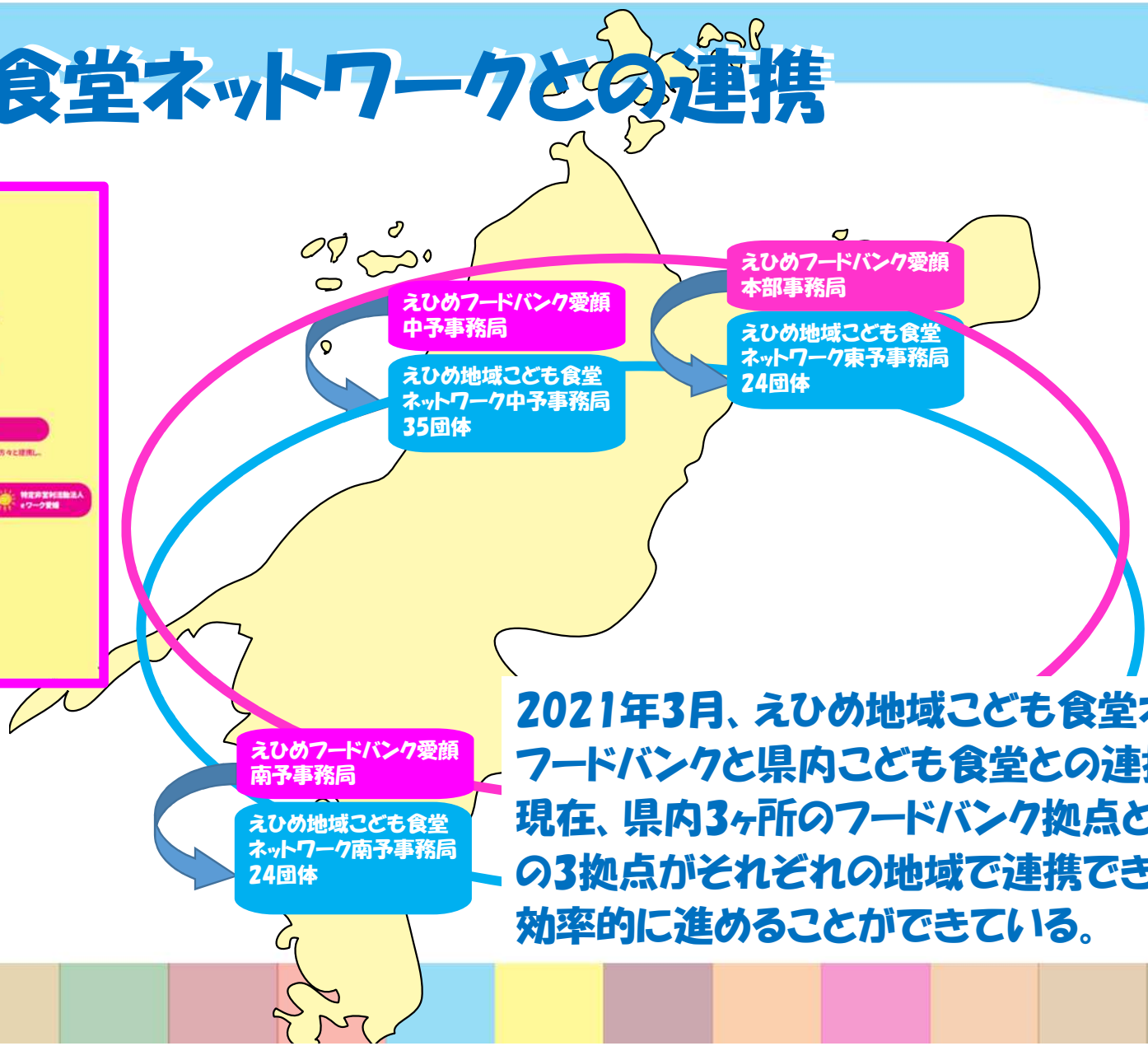
こども食堂ネットワークとの連携



えひめフードバンク愛媛について

私たちは、スーパーマーケットなどの小売店、食品工場、農家の方々と連携し、余剰食料や食品残りの寄付を受けています。

特定非営利活動法人
e7-ワーク愛媛



えひめ地域 こども食堂 ネットワーク

あらたなコミュニティのカたち。あらたなつながりのハジマリ。



2021年3月、えひめ地域こども食堂ネットワークが設立され、フードバンクと県内こども食堂との連携効果が高まった。現在、県内3ヶ所のフードバンク拠点とこども食堂ネットワークの3拠点がそれぞれの地域で連携できており、食料シェアを効率的に進めることができている。

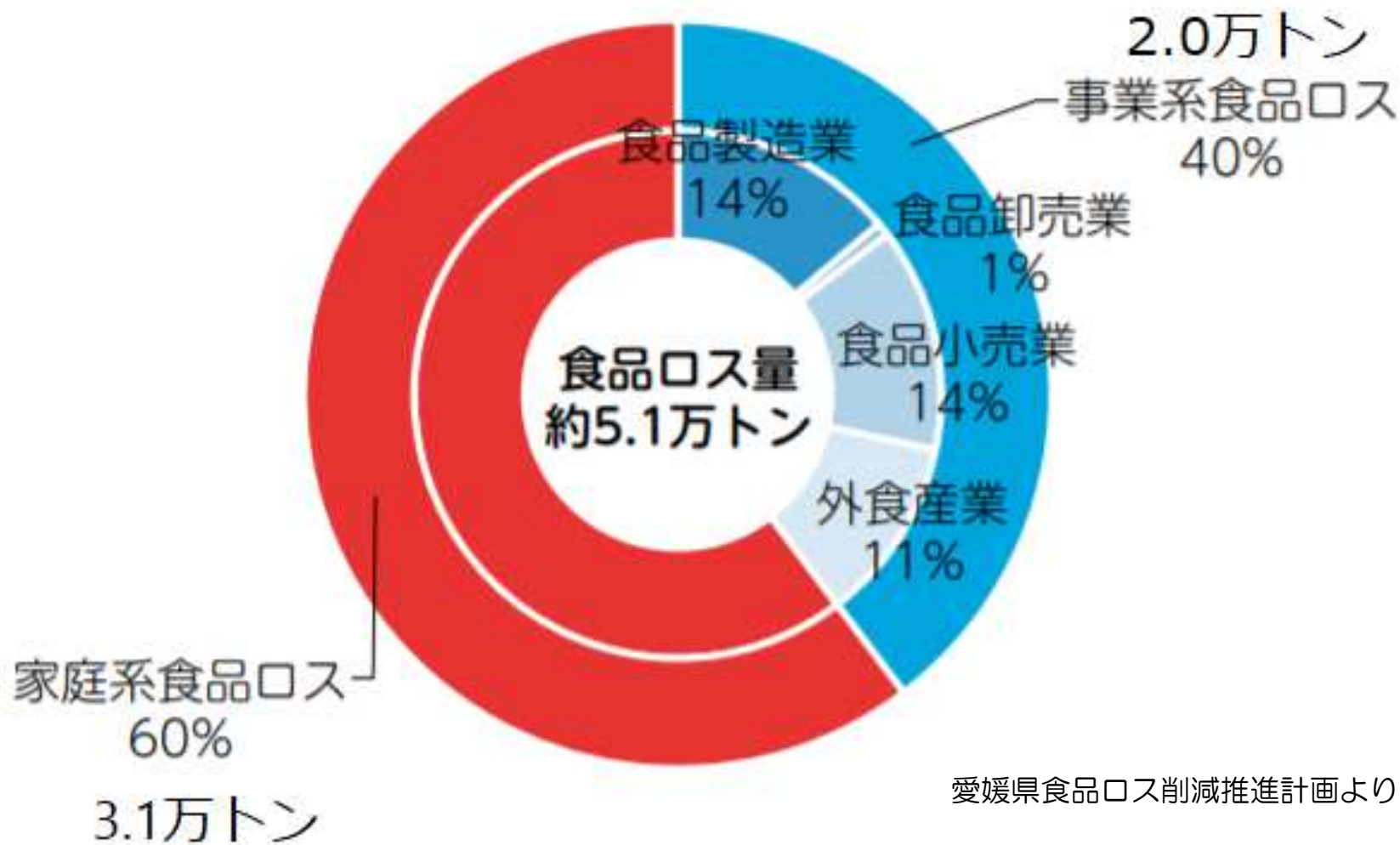
こども食堂の運営・連携



こども食堂でのフードパントリー



愛媛県 食品ロス発生状況



愛媛県食品ロス削減推進計画より引用

フードドライブには大きな意義がある

- ①食品ロス削減推進法が施行され、事業系の食品ロスは流通、販売、製などのシステムを改善させ、今後、事業者が進めていく流れができた。
- ②家庭系の食品ロス削減は、消費者一人一人の心がけにかかっている。
- ③フードドライブは、家庭系の食品ロス削減の効果があるシステムとして数少ない取組である。
- ④フードドライブの拡大によって食品ロス削減に対する消費者の認知度が向上する。
- ⑤消費者として利用する、飲食店での食べ残しの減少や「てまえどい」（賞味期限の近い方からの購入）など事業系食品ロス削減が進むことが期待できる。

イベント型フードドライブ



2019.10 新居浜市総合福祉会館



2021.2 松山市フードドライブ
(フジグラン松山)



2020.10 愛媛県3Rフェア
(エミフィルムサキ)



2018.7 イオンホール



2018.5 福祉のつどい(八幡浜市)

店舗常設型フードドライブ 実施個所

2022年1月現在 31ヶ所(自拠点含む)



2021年4月
常設型フードドライブ開始(株式会社フジ3店舗で開始)。
以降、フジ11店舗で追加実施され、道後さや温泉ゆら
ら、
東予信用金庫、コープえひめ(全10店舗)、
イオンモール新居浜で開始。
2022年1月現在、県内計31ヶ所(自拠点含む)で常設
型フードドライブ実施中。
さらに、今年度中に4店舗の常設型フードドライブ開始
について、株式会社フジの皆さんと調整中。

日常フードドライブ

フードドライブが日常の風景になり、当たり前前の言葉になれば「もったいない」という意識が普通になる。
そんな普段の生活に溶け込むフードドライブ。
そうすれば、「もったいない」ことをする行為が恥ずかしくなる。そして、家庭系食品ロスは減少していくのだと思う。

コミュニティパントリー



◎利用者は、ひとり親世帯の支援団体、生活困窮者支援団体、福祉施設などから紹介

◎開店時はいつでもOK。食料を選んで無料で持帰ることができる

コミュニティパントリー

えひめフードバンク愛媛

中予事務局
松山市福川2-1-5
(教会こども食堂)
TEL:089-952-7977

東予事務局
西条市神拝甲130-2
TEL:090-4333-4308

南予事務局
宇和島市栄町港2-4-16
TEL:0895-28-6633

本部事務局
新居浜市萩生1309-1
TEL:0897-47-4307

お名前

**えひめ
フードバンク
愛媛**

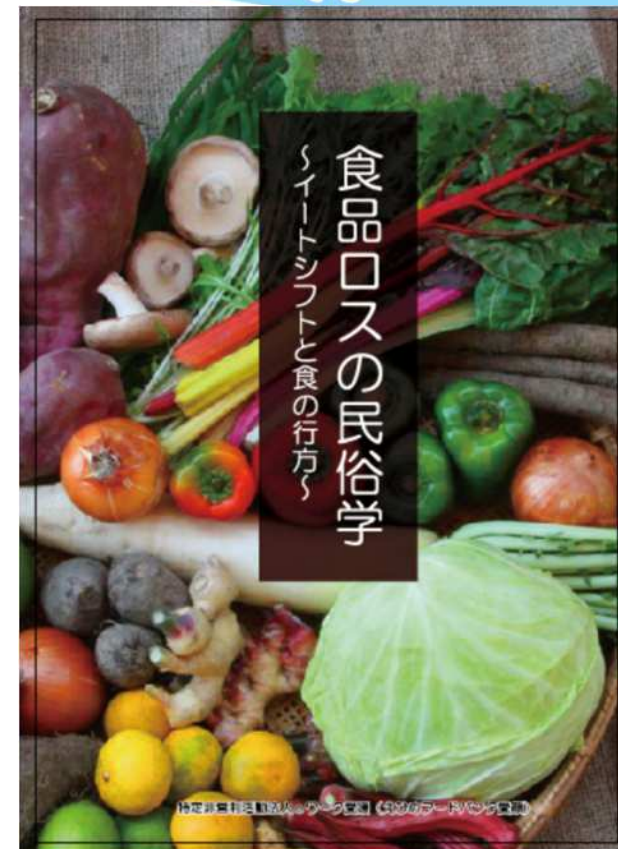
パントリー利用スタンプカード

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60

100ポイントにつき、スタンプ1個押させていただきます。月 ポイント(スタンプ 個)までご利用可能です。

- 公平性を維持するためポイントカード運用
- 単に無料で食料を持ち帰ることができるだけではなく、対話を重視。困りごとの早期把握。何か異常を感じたら、支援団体に連絡。
- 相談も受付

絵本などによる啓発活動



◎ 絵本は約3000冊を市内の幼稚園・小学校などを中心に無料配布

◎ 冊子は高校生・大学生など若い世代に向けて講演・勉強会で無料配布

講演・セミナー・勉強会・シンポジウムの開催



2017.12 にいはま
子ども食堂
中村松木店



2018.7 松山東高等学校



2018.9 新居浜高等学院



2019.2 愛媛の子ども食堂セミナー 2019.8 南予事務局開所式 2020.2 食品ロス削減シンポジウム

Podcastを活用した啓蒙

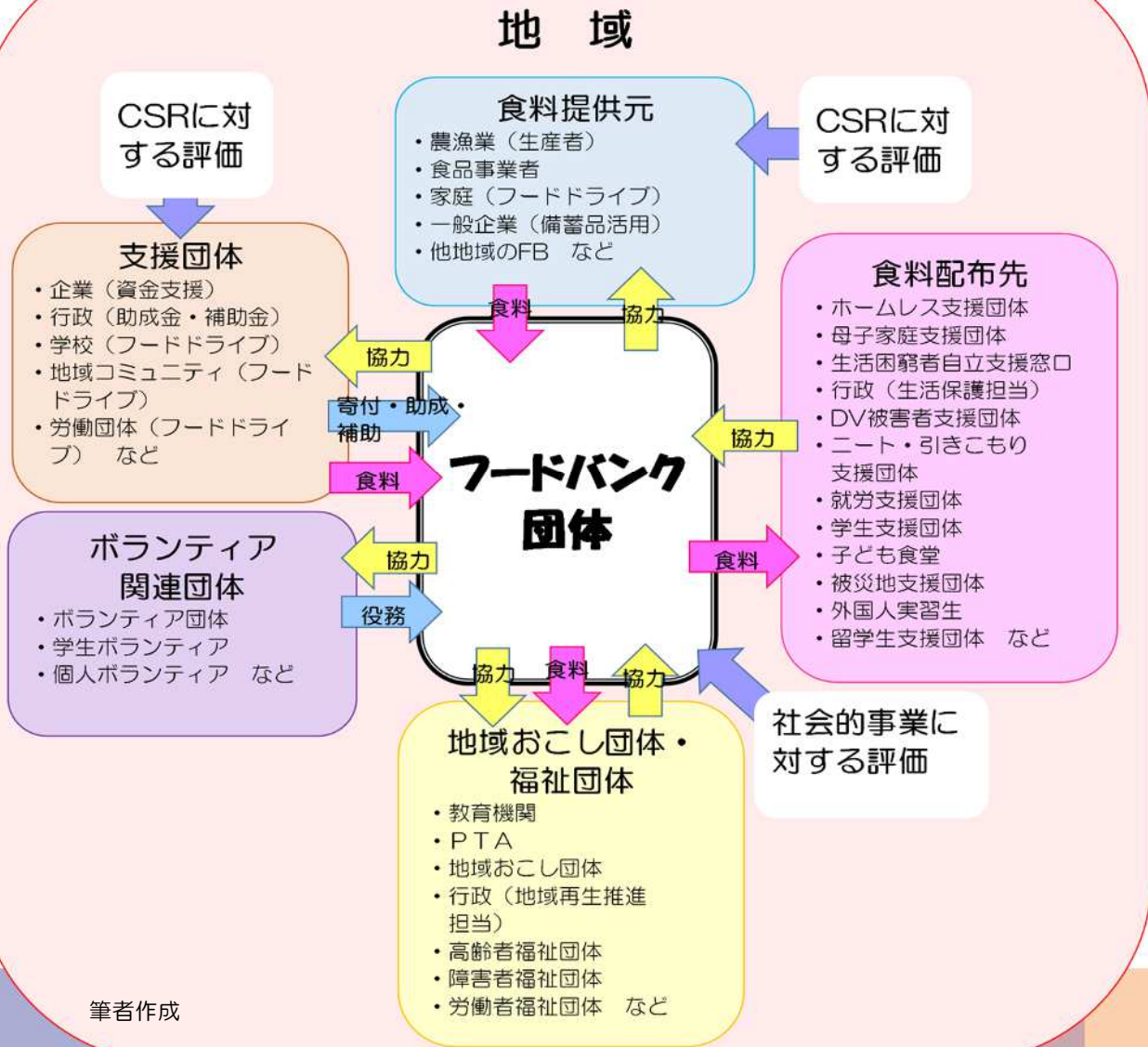


Podcastを自主制作し、食品ロス削減や地域の情報を発信中

えひめフードバンク愛顔 実績推移

西暦年	配布（取扱）数量 (kg)	福祉食料費用 ²⁾ 削減効果 (円/年)	産廃処理費 ³⁾ 削減効果 (円/年)	生ごみ焼却 ⁴⁾ 燃料削減 (灯油換算 ㍴/年)	生ごみ焼却 ⁵⁾ 燃料費削減 (円/年)	寄贈元 団体数 (個人含まず)	提供先 団体数 (個人含まず)	フードドライブ実績 (日数×箇所数/ 自拠点を含まず)
2014	1,161	696,600	58,050	109	10,932	5	15	—
2015	961	576,600	48,050	90	9,049	7	15	—
2016	534	320,400	26,700	50	5,028	7	16	2
2017	4,193	2,515,800	209,650	395	39,482	9	17	2
2018	3,153	1,891,800	157,650	297	29,689	11	21	3
2019	5,940	3,564,000	297,000	559	55,932	11	23	2
2020	17,039	10,223,400	851,950	1,604	160,441	21	39	35
2021 ¹⁾ (12月末時点)	26,818	16,090,800	1,340,900	2,525	252,521	39	58	2,667
2021 (予想)	35,981	21,588,600	1,799,050	3,388	338,800	39	58	5,038

フードバンクと他団体・組織との連携の構造



e7-ネットワーク愛媛(えひめフードバンク愛顔)は、今後も地域の方々や団体と連携しながら、地域共生社会づくりに貢献していきます。

ご清聴ありがとうございました。